

▼東海

今回も信州は雨だった

東海民放クラブカメラ部会

阪田 晃(THK)

一昨年、昨年とコロナの波は上手く乗り越えたものの、肝心の撮影会は雨の中で苦戦を強いられ、会員から「雨幹事」と冷やかされたため、今年こそはと決定した10月18日、19日の撮影会。10月になって天候が気になりだし、コロナ第7波は収束に向かい、しめしめと思いつながら、いよいよ現地一週間予報が出る日、恐る恐る予報を見て仰天！なんと両日を含む3日間が雨予報、その後が本格的な秋晴れの到来という、何とも皮肉な予報となりました。何とか前後どちらかにズレないかと一週間祈り続けましたが、最近の予報は無情にも確率が高く、これを機に幹事を辞めさせていただきたい気持ちで当日を迎えました。

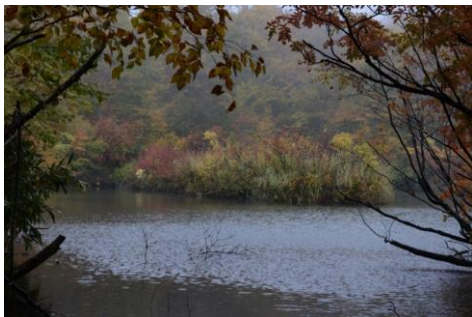
集合時は曇り、第一撮影地の蓼科高原横谷溪谷の王滝に向かう。この時点では雨は降らず、王滝を見下ろす高台から、色づき始めた紅葉の中の滝をカメラ

に収め、第二の目的地、紅葉真つ只中の白駒池に向かいました。

やっぱりというか、雨がポツリポツリ、昨年の志賀高原の雨と霧の悪夢が現実となり、自身の不徳を恨みながら、少し小降り不徳を見計らって撮影。足元が悪いので、途中で引き返す人も何人かいました。こうして一日目の撮影は終了、後は楽しい食事とカラオケ大会、燃える暖炉の傍でワインを傾けながら、信州の夜は更けてゆきました。

二日目、幹事は朝4時に起きて空を見上げる。一面の霧と小雨にガツクリ。朝風呂で気を静め、ふと外に目をやると、霧が晴れ、少し明るくなってきた様子。外に飛び出すと景色が一変、朝日も差し込み、八ヶ岳も少しでしたが顔を見せてくれました。宿の周りの紅葉をカメラに収め、少し救われた気持ちで今日の撮影地、北信濃小谷村(おたりむら)雨飾(あまかざり)高原の鎌池(かまいけ)へ。ここはブナの原生林が池を囲み、最近、紅葉の撮影スポットとして注目されていくところだ。

松本までは日差しがたつぷり



雨飾高原鎌池



宿泊した「ライフイン夢」の前

で気分も爽快、ルンルン気分でしたが、白馬村へ入るところから次第に雲が広がり小雨模様。小谷村から雨飾高原に向かう山道は本格的に雨、一気にうつ状態になりました。

マイクローバスが喘ぎながら登り詰めた先の鎌池は雨の中に静かに佇んでいました。晴天なら真つ



蓼科高原の朝



雨飾高原の滝

赤に燃える紅葉が池に映って最高だな、と苦々しく思いながら、雨の池周辺を足元に気を取られながら撮影しました。今年もトホホの2日間、帰りの車中、最高齢卒寿のTさんから「雨もまた佳し」と励ましのお言葉を頂き、来年こそは晴幹事になるぞと誓うのでありました。嗚呼……。